

財団法人古紙再生促進センター
社団法人日本印刷産業連合会

「印刷用の紙へまるごとリサイクル」可能な印刷物の普及促進に向けた社会実験

財団法人古紙再生促進センター（東京都中央区入船 3-10-9）・社団法人日本印刷産業連合会（東京都中央区新富 1-16-8）は、平成 20 年度経済産業省国庫補助事業「リサイクル対応型紙製商品開発促進対策事業」の一環として、リサイクル紙製商品研究委員会（委員長：大江礼三郎・東京農工大学名誉教授）のもと「リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン（案）」の試行・検証を行います。

-----【 概 要 】-----

本事業は、主として雑誌古紙の品質向上による古紙利用率の向上を図るため、平成 11 年度から関係業界の連携・協力を得て、10 年間にわたり実施してきました。

今年度は、印刷・情報用紙へのリサイクルを阻害しない印刷資材のみを用いて製作した印刷物（リサイクル対応型印刷物）を、企画段階から印刷物製作、そして古紙として回収ルートに載せるまでの一連の流れについて検証し、問題点・課題を洗い出した上で、ガイドラインを完成し、平成 21 年度以降の普及促進につなげます。本事業への協力企業（予定含む）は以下のとおりです。

- 株式会社小学館：雑誌「BE-PAL」2009 年 2 月号
- 株式会社日本航空：JAL グループ機内誌「SKYWARD」2009 年 1 月号
- 三井住友海上グループホールディングス株式会社グループ報「MSIG Unity」2009 年 1 月号
- 通産資料出版会株式会社：書籍「環境総覧 2009-2010」
- 大手通信販売会社のカタログ

-----【 背 景 】-----

段ボール・紙箱などの板紙分野の古紙利用率は 100%近くで限界に達しており、今後は印刷・情報用紙などの紙分野での古紙利用率を向上させる必要があります。現在、資源有効利用促進法にもとづき、製紙業界・古紙業界を中心に 2010 年度の古紙利用率目標 62%を目指しています（現状の古紙利用率は 61%強）。リサイクル対応型印刷物は、印刷・情報用紙などの紙分野での古紙利用率向上と、全般的な古紙品質の向上に寄与します。

なお、環境省平成 20 年度特定調達品目検討会において、リサイクル対応型印刷物の考え方を全面的に導入した、グリーン購入法特定調達品目「印刷」の判断の基準の見直しが決定されました（グリーン購入法については環境省へお問い合わせください）。

-----【お問合せ先】-----

〒104-0041 東京都中央区新富 1-16-8 日本印刷会館 8 階 電話 03-3553-6051
社団法人 日本印刷産業連合会 業務推進部 担当：殖粟（うえくり）<http://www.jfpi.or.jp/>

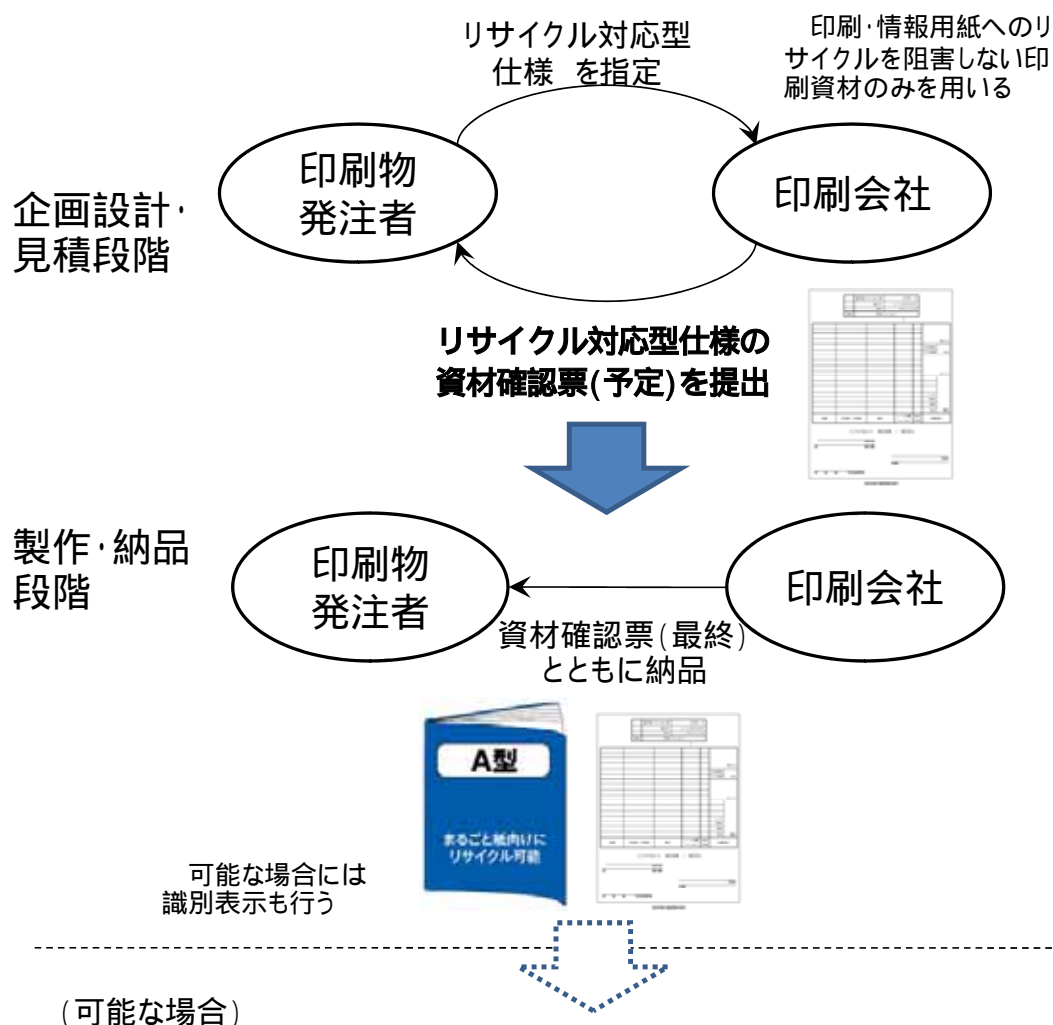
-----【参考資料】-----

- 別紙 1：リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン（案）試行・検証の概要
- 別紙 2：リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン（案）試行・検証対象印刷物
- 別紙 3：試行・検証の具体例（小学館 BE-PAL 誌 2009 年 2 月号）
- 資料 1：リサイクル対応型印刷物の背景と考え方
- 資料 2：「グリーン購入法 / 印刷基準」改正の動向とリサイクル対応型印刷物への取組に関する説明会のご案内

以上

リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン（案）試行・検証の概要

目的1：製作段階(発注者・印刷会社)での課題の抽出と対応策の検討



目的2：回収段階(古紙としての流通)での課題の抽出と対応策の検討



図中の雑誌イラスト（A型、まるごと紙向けにリサイクル可能と記載）については、資料1 p.7の説明図をご参照ください。

リサイクル対応型印刷物製作ガイドライン（案）試行・検証対象印刷物

<p>株式会社小学館 雑誌「BE-PAL」 2009年2月号（2009年1月10日発売）</p> 	<p>株式会社日本航空 JAL グループ機内誌「SKYWARD」 2009年1月号（2009年1月搭載）</p> 
---	--

三井住友海上グループホールディングス株式会社
グループ報「MSIG Unity」2009年1月号
（2009年1月21日発行）

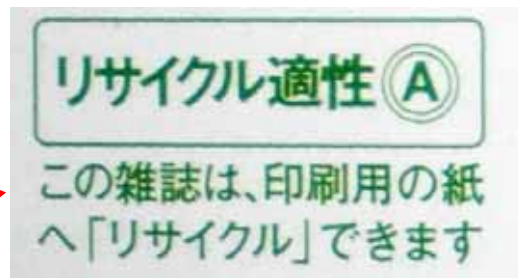


試行・検証の具体例（小学館 BE-PAL 誌 2009 年 2 月号）

1. リサイクル対応型印刷物 A 型（印刷用の紙へリサイクルできる）仕様での製作

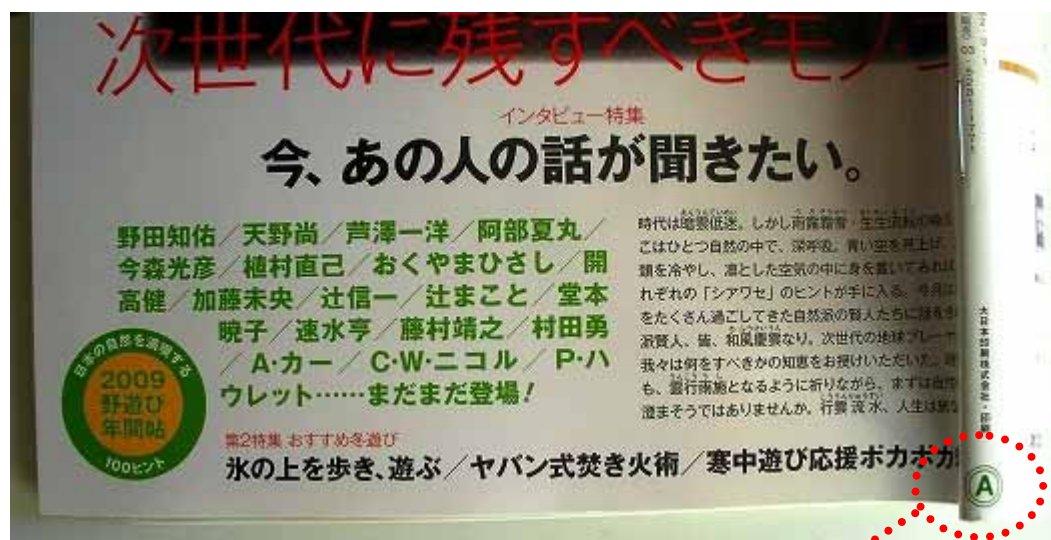


2. 目次ページにおけるリサイクル適性の表示



上記表示（デザイン、説明文）は、本試行のために作成されたもので、今後変更される可能性があります。

3. 背におけるリサイクル適性の表示



上記表示（デザイン）は、本試行のために作成されたもので、今後変更される可能性があります。

4. 返本誌の回収・リサイクル（予定）

- 通常の返本ルートを活用し、BE-PAL 誌当該号のみを他の返本誌と区別して保管します。
- 試験的に当該号のみを古紙として梱包し、製紙工場に送り、印刷・情報用紙の原料として投入されるところまでを確認します。
- 一部は、古紙業者に依頼して、他の同体裁の雑誌と混入した状態での選別作業の実験を行い、識別表示の視認性、作業性を評価します。

関係者との調整により、変更される可能性があります。

5. 小学館 BE-PAL 誌における本試行についてのお問い合わせ先

〒101-8001 東京都千代田区一ツ橋 2-3-1

株式会社小学館 取締役 広岡 克己

電話：03-3230-5315

以上

リサイクル対応型印刷物とは

～まるごとリサイクルできる印刷物～

21世紀は環境の世紀と言われ、地球温暖化防止や循環型社会形成といった持続可能な社会づくりに向けて関係者全体が連携し、一体となった取り組みが求められています。

紙リサイクルの意義と目標

古紙は、日本全体の循環資源のおよそ1割を占める重要な資源です。2007年、製紙原料に占める古紙の割合(古紙利用率)は61.2%で、ごみの減量化だけでなく、森林資源の保全、地球環境の保全に貢献しています。現在、資源有効利用促進法にもとづき、2010年度までに古紙利用率を62%に向上させる目標が設定され、製紙業界、古紙業界を中心にその達成に向け取り組んでいます。

「紙」から「紙」へのリサイクルが求められています

古紙の用途は、段ボールや紙箱(白板紙)などの「板紙」向けと、新聞用紙や印刷・情報用紙などの「紙」向けに分けられます。それぞれの古紙利用率は、「板紙」が92.9%と非常に高く、今後古紙利用率の向上余地は少ないの比べ、「紙」は39.2%に留まっています(2007年)。

古紙利用率62%を達成するには、「紙」分野の古紙利用率の大幅な向上が必要です。そのためには、出版物などに使用される印刷・情報用紙をもう一度、印刷・情報用紙向けの製紙原料として回収・利用できるようにすることが大切です。

リサイクル対応型印刷物の普及が鍵

用紙、インキ、製本や表面加工、シールなどの印刷資材の中には、製紙工程でトラブルの原因になるものや、製品(紙・板紙)の品質に影響を及ぼすものがあります。

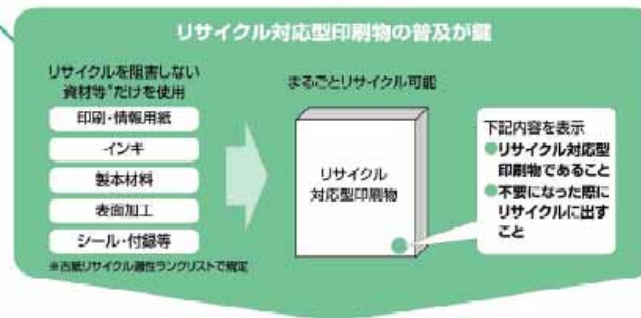
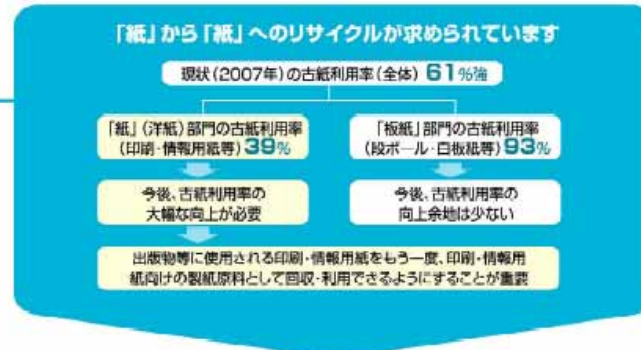
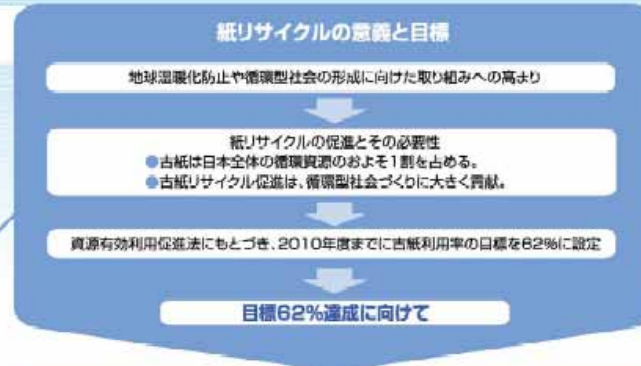
そこで関係業界が協力して、リサイクル阻害性を克服した資材の開発、評価方法の確立に努め、普及を進めてきました。

今後は、リサイクルを阻害しない資材だけを使って、まるごとリサイクルできる印刷物(リサイクル対応型印刷物)を普及させることが重要です。

印刷物製作の企画・設計段階から関係者の協力が必要

リサイクル対応型印刷物を製作するには、企画・設計段階でリサイクルに適した仕様を設計することが、非常に重要です。そのためには、発注者をはじめ印刷物製作に関わるデザイナー、印刷・製本会社、資材の製造メーカーの協力が不可欠です。

不要になったリサイクル対応型印刷物が、きちんと回収されることで、印刷・情報用紙向けの製紙原料の確保が促進されます。



「グリーン購入法/印刷基準」改正の動向と リサイクル対応型印刷物への取組に関する説明会

主催：(社)日本印刷産業連合会 環境委員会・グリーン購入検討会

環境省では現在、グリーン購入法に基づく特定調達品目及びその判断の基準に関し、改正に向けた検討を行っているところですが、古紙偽装問題を受け「紙類」及び「印刷」の基準についても、改正案のパブリックコメントが出ているところです。

本基準改正案には、印刷会社が印刷資材のリサイクル適性に関する確認票を発行する仕組みが取り入れられており、これは国の印刷発注にとどまらず民間の印刷発注にも今後多大な影響を及ぼすものと考えております。

そこで、(社)日本印刷産業連合会では、環境省から本基準改正案がめざす方向性をお聞きするとともに、古紙リサイクルの促進をめざした本基準改正案の内容と対応、及び今般基準案の元となった「リサイクル対応型印刷物」及び印刷物資材「古紙リサイクル適性ランクリスト」について、また併せて本基準の参考事項ともなっているグリーンプリンティング認定制度についての説明会を開催いたします。

記

【開催日時】平成21年2月9日(月)午後1時30分～午後3時30分(12時30分より受付開始)

【会 場】日本印刷会館 2階大会議室 (有楽町線新富町駅、日比谷線八丁堀駅下車)
東京都中央区新富1-16-8 TEL 03-3553-6051

【参加費】1名 2,000円(当日資料、消費税含む)
当日、現金にてお支払い下さい(領収書発行) お釣りのないようご準備下さい。

テーマ名/講師/内容

1. 「印刷」の基準設定の背景及び印刷業界に期待すること
講師 原田 和幸 氏(環境省・総合環境政策局環境経済課・課長補佐)
古紙偽装問題を踏まえた国の考え方、「印刷」の基準設定の背景及び今後印刷業界に期待する点などについて、お話しいただきます。
2. 「グリーン購入法/印刷基準」改正への対応とリサイクル対応型印刷物について
講師 殖栗 正雄(日本印刷産業連合会・業務推進部環境担当)
今般の「印刷」基準改正案とその対応について詳細に説明するとともに、(財)古紙再生促進センターと共同で推進してきた「リサイクル対応型印刷物」及び「古紙リサイクル適性ランクリスト」の詳細についてご説明いたします。
3. 「グリーンプリンティング認定制度」の概要について
講師 相原 茂明(日本印刷産業連合会・グリーンプリンティング認定事務局)
日本印刷産業連合会が進めている印刷製品の資材と工程の環境配慮総合認定制度「グリーンプリンティング認定制度」の現況と概要について説明いたします。

お申込み方法

裏面の「申込書」にご記入の上、下記までFAXして下さい。

〒104-0041 中央区新富1-16-8 日本印刷会館8階

(社)日本印刷産業連合会 業務推進部 FAX 03-3553-6079 TEL 03-3553-6051

申込締切は 1月30日(金)です。

なお、定員(120名)に達し次第締め切らせていただきますので、お早めにお申込み下さい。

お申込がありましたら申込書に「聴講No」を記入の上をFAX致します。当日必ずご持参下さい。

FAXから3営業日を過ぎても届かない場合はご連絡下さい。

本説明会は、平成21年2月～3月の間に、札幌、仙台、名古屋、大阪、広島、福岡の各地区においても実施する予定です。日程、会場等詳細につきましては、決定次第、日本印刷産業連合会ホームページ(<http://www.jfpi.or.jp>)のほか、各関係機関を通じご案内いたします。

聴講 No があることを確認の上、当日はこちらの参加申込用紙をご持参下さい

宛先：(社)日本印刷産業連合会 業務推進部 行 FAX 03-3553-6079

「グリーン購入法/印刷基準」改正の動向と
リサイクル対応型印刷物への取組に関する説明会」

聴講Noなきは無効

【日 時】平成21年2月9日(月)午後1時30分～午後3時30分(12時30分より受付開始)

【参加費】1名2,000円(当日資料、消費税含む)当日、現金にてお支払い下さい(領収書発行)。お釣りのないようご準備下さい。

参加申込用紙

聴講 No.

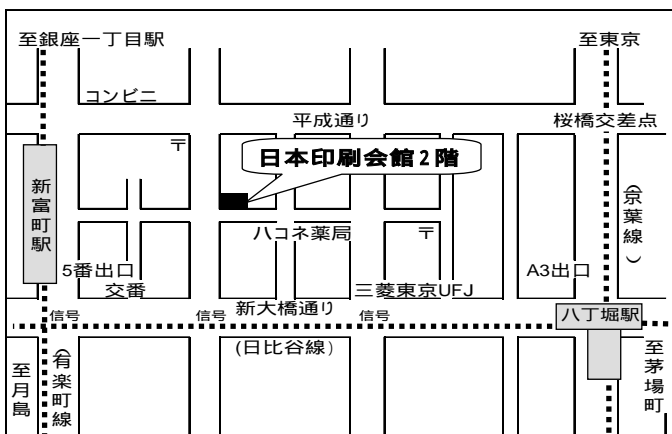
社名(ふりがな)	
部署名	
氏名(ふりがな)	様
所属団体名	
住所	〒
電話	
FAX	必ずご記入下さい
メール	

聴講 No.

(注意事項)

- 1枚につき1名様お申しいただけます。複数ご参加の場合はコピーしてお申込下さい。
- 当日、現金にてお支払い下さい(領収書発行)。お釣りのないようご準備お願いいたします。
- キャンセルの場合は必ずご連絡下さい。
(ご連絡ない場合は次回よりご参加いただけない場合もございます)
- お申込がありましたら申込書に「聴講 No」を記入の上をFAX致します。当日必ずご持参下さい。
FAXから3営業日を過ぎても届かない場合はご連絡下さい。聴講 No なきは無効です。
- 定員に達しご参加いただけない場合は、その旨ご連絡いたします。

<会場案内図> 東京都中央区新富1-16-8 ご来館の際は、公共の交通機関をご利用下さい。



新富町駅(東京メトロ有楽町線)

<5番出口・徒歩4分>

八丁堀駅(東京メトロ日比谷線・JR京葉線)

<A3番出口・徒歩7分>

ご記入いただきました個人情報は標記セミナー参加のための手続き、及び当連合会の環境関連の刊行物、セミナー等会以外へ開示提供することはありません。
(ホームページアドレス <http://www.jfpi.or.jp/>)